

対象クラス	第3学年 ビジネス科・ビジネス情報科の選択者	単位数	2
使用教科書	『国語表現 改訂版』（大衆館書店）		
使用副教材	『国語表現基礎練習ノート』（大修館書店）		

「国語表現」とはこんな科目です。

- ・高等学校卒業後、上級学校（四大・短大・専門学校）への進学を希望するみなさんが対象です。
- ・「書くこと（小論文）」に重点を置きながら、語彙・語句・表現方法などの知識を習得します。
- ・より実践的な課題（上級学校の過去問題）も発展的に取り入れ、「伝える力」をより高めます。また、その成果を相対的に認識するため、外部模試にも挑戦します。

科目の到達目標（目標とする検定等）

- ・言葉や表現の問題を取り上げ、「表現」への関心を深めよう。
- ・「表現」の基礎として必要な「考えること」の具体的な方法を身に付け、「自分の意見」をもとう。
- ・「自分の意見」をどのようにして「文章化（表現）」するかなどの、小論文の土台となる「表現法」を知ろう。
- ・多種多様な「表現法」を用いることで「表現の楽しさ」を味わい、将来の進路選択に生かそう。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・授業の取り組みの様子 ・提出課題の提出状況
話す・聞く能力	・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	・授業の取り組みの様子 ・課題プリント ・進路資料室での取り組みの様子
書く能力	・相手に目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・授業の取り組みの様子 ・課題プリント ・課題の提出
知識・理解	・言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。	・進路資料室での取り組みの様子 ・まとめの（単元）テスト

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1部 表現力を培う 1書いて伝える	レッスン1 整った文を書く レッスン2 わかりやすい文を書く レッスン3 文のつなぎ方 レッスン4 絵や写真を見て書く	・正確かつ客観的に書くための基本技法を身に付ける。 ・他者の理解や共感を得ることのできる文章力を身に付ける。
	2小論文・レポート入門 【前期中間考査】	レッスン1 小論文とは何か レッスン2 反論を想定して書く レッスン3 文章を読み取って書く	・小論文とはどのようなものかを理解し、必要な表現技法
前期期末	3自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて レッスン2 効果的な自己PR レッスン3 将来の自分を考えよう	・自分自身を客観的に見つめ、皆の前で自己PRをする力を身に付ける。
	4メディアを駆使する 【前期期末考査】	レッスン1 通信文を書き分ける レッスン2 ネット社会とコミュニケーション レッスン3 メディアと情報	・通信コミュニケーションを確実にを行うための文章形式や表現力を身に付ける。 ・情報を収集・分析して発表する力を身に付ける。
後期中間	5 声とコミュニケーション 6 会話・議論・発表 【後期中間考査】	レッスン1 言葉のストレッチ体操 レッスン2 リーダーシアターを聞こう レッスン1 相手の場面に応じた会話 レッスン2 建設的な議論の進め方	・合意形成や問題解決を図る討論・ディベート方法を知る。 ・他者に分かりやすく伝える方法を知る。

<p>学 年 末</p>	<p>第2部 表現を楽しむ</p> <p>【学年末考査】</p>	<p>1 言葉で学ぶ 2 詩歌を楽しむ 3 パロディー物語を作ろう</p>	<p>・語彙や敬語表現、日本語と外国語などを通して、言葉と いうものを見つめ直す。</p> <p>・感動を効果的に伝える力や豊かな想像力を、実作を通 して体験的に身に付ける。そしてその培った視点で、世 の中の散文・韻文を客観的にとらえ直す。</p>
----------------------	--------------------------------------	---	--